



博物館通信

秋号



2022年10月発行 Vol.85



秋の天文現象

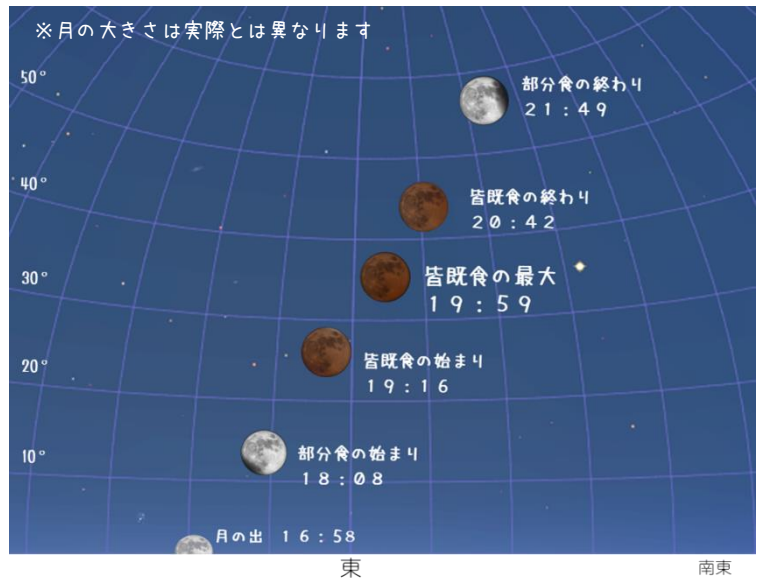


11月 皆既月食

今年の11月8日、「皆既月食」が起こります。

「月食」とは、太陽—地球—月と一直線に並び、地球の影の中に月が入り、月が欠けていくように見える天文現象です。今回は、地球の影にすっぽりと月が入る「皆既月食」です。今回の月食は、とても見やすい時間帯に起こり、皆既食は1時間半ほどの長い時間続くので、ぜひ観察してみましょう！

また、皆既月食中に月が天王星を隠す「天王星食」も起こります。天王星の明るさは5.6等と暗く肉眼では見つけにくいので、望遠鏡や双眼鏡を使って探すのがおすすめ。



観察ポイント！

—肉眼で見たとき—

- ☆月の明るさや色の変化
- ☆皆既食中のまわりの星
- 月明かりで見えなかった暗い星も皆既食中は見えるように！

—望遠鏡を使ったとき—

- ☆クレーターの影の様子
- ☆天王星が隠されていく様子

やってみよう！

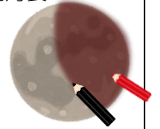
時間ごとに観察して、スケッチをとろう!!



博物館HPにもスケッチ用紙をのせるよ。印刷して使ってね

例 11月8日 皆既月食

- ・時間:21時15分
- ・天気:晴れ
- ・気づき:



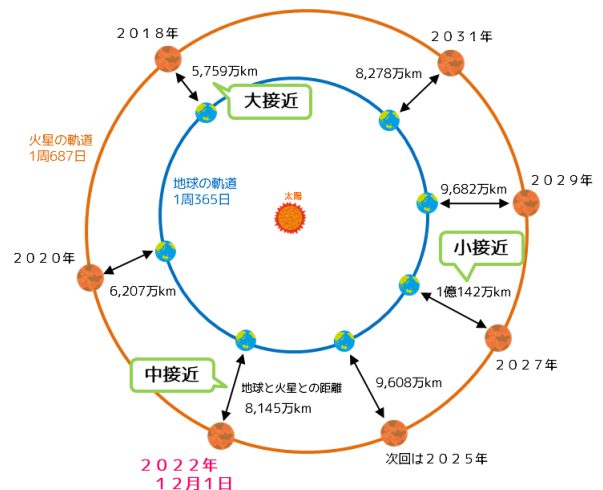
12月 火星最接近

12月1日に火星が地球に最接近します。

火星と地球の距離が近づき、火星の明るさが-1.8等ととても明るく目立つので、明るい星が多い冬の星座の中でも観察しやすいです。

地球は太陽の周りを365日かけて一周しますが、火星は687日かけて一周しています。なので、地球が2年2か月ごとに火星に追いつき、追い越します。このとき、地球と火星が近くなることを「接近」と呼びます。

今回は「中接近」なので、地球と最も近づく「大接近」の時よりは控えめな火星ではありますが、一晩中見ることができます。秋の終わりから冬にかけて見ごろなので、観察してみましょう！



接近時の地球と火星の位置

火星の軌道は楕円形をしているから地球との距離が近いところと遠いところがあるんだ。



